

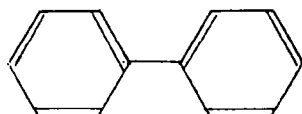
ビフェニルの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和49年11月20日～昭和49年12月28日

2. 試料名 ビフェニル (試料名K-7.8)

分子式 $C_{12}H_{10}$

構造式



3. 試験方法及び条件

環保業第5号
 薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
 49基局第392号

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

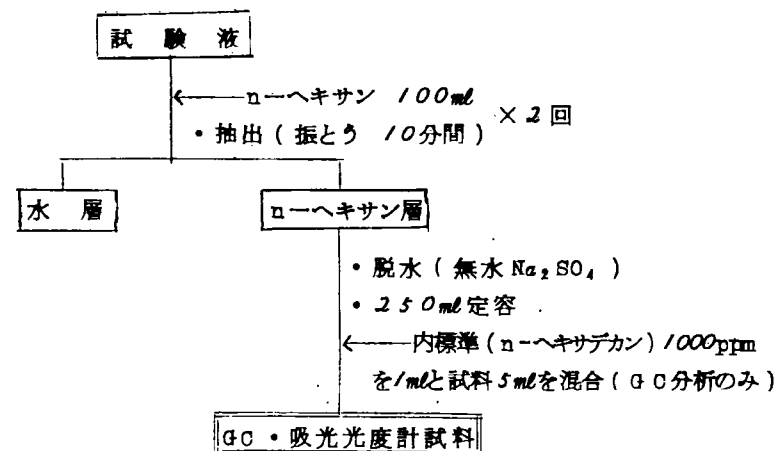
(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

紫外可視自記分光光度計

(以下余白 次頁に続く)

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器

キャリアガス N_2 1.0%

充てん剤 OV-17 2% クロモソルブW

ガラスカラム 2mm ϕ x 2m

カラム温度 110°C

紫外可視自記分光光度計 (吸光光度計)

波 長 190~370 nm (245 nm)

スリット幅 4 nm

使用セル 石英セル 10mm x 10mm

(以下余白 次頁に続く)

4. 試験結果

	分解度(%)	付図	付表
酸素消費量による結果	66	1	—
G C による結果	84	2~5	1, 2
吸光光度計による結果	91	6~8	3, 4

5. その他

操作上特に問題となる点はなかつた。

以 上